

- 応募事業：温泉熱等利活用【計画策定】
- 代表事業者：霧島国際ホテルマネジメント株式会社
- 事業実施地：鹿児島県霧島市
- 共同実施者：なし

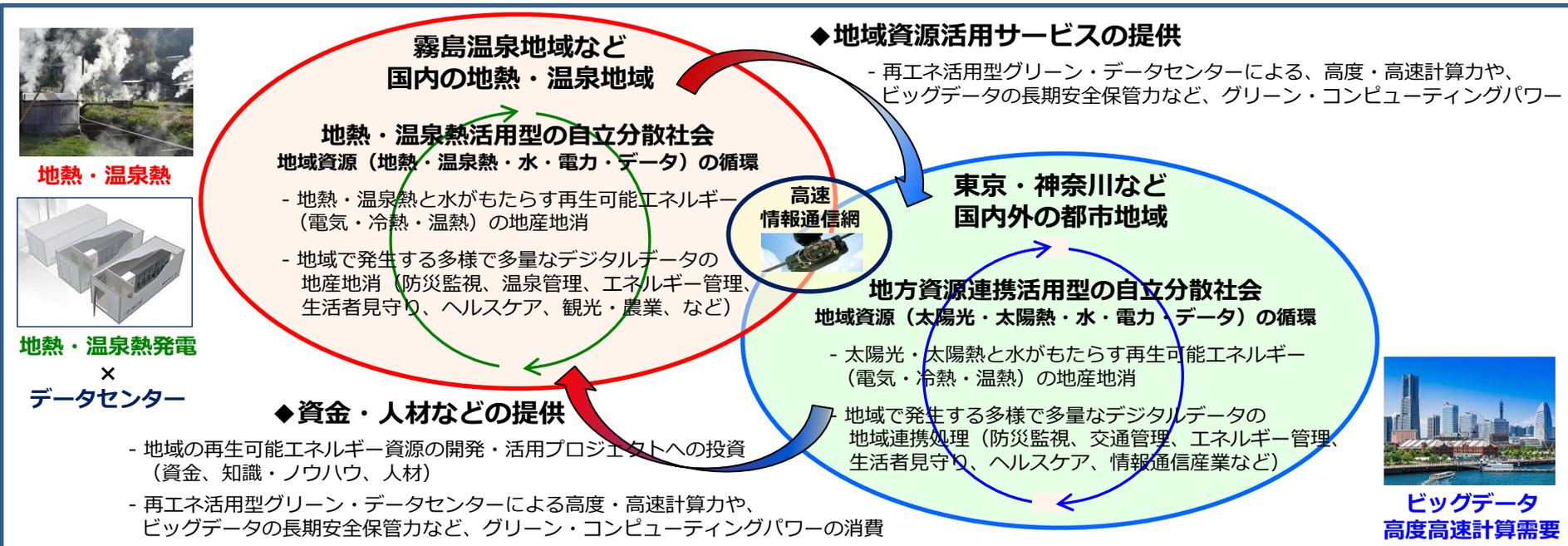
○地域課題

グリーン電力やグリーン熱の利活用に有効な温泉熱資源が豊富に存在しながら、これらが有効活用されずに放散され、クリーンなエネルギー利用やCO₂の削減が進展していない課題があります。また、こうした温泉熱を活かして発電した電力を有効活用する具体策が無かったことから、新産業の誘致や地域連携での事業創出による地域活性化にも活用されていない中、従来型の温泉観光産業が新型コロナ蔓延等によって多大な影響を受けており、今後のウィズコロナ、ポストコロナ時代を見すえた新たな産業振興や持続発展策が必要となっています。

○本事業を活用した地域課題の解決方策

未利用となっている地元の温泉熱資源を、地元内外の関係者連携（パートナーシップ）によって有効活用し、得られるグリーン電力やグリーン冷温熱を既存施設に供給して脱炭素化やエネルギーコストの削減を推進するとともに、余剰電力を有効活用して、温泉観光地域に新たなデジタル産業の基盤となる、再エネ活用型のグリーン・データセンターを整備することで、従来の温泉観光産業とは異なるデジタル産業を創出・振興し、デジタル社会をみすえた新たな経済好循環をもたらすことで、脱炭素・デジタル型の地域循環共生圏を構築します。

○目指す地域循環共生圏のイメージ

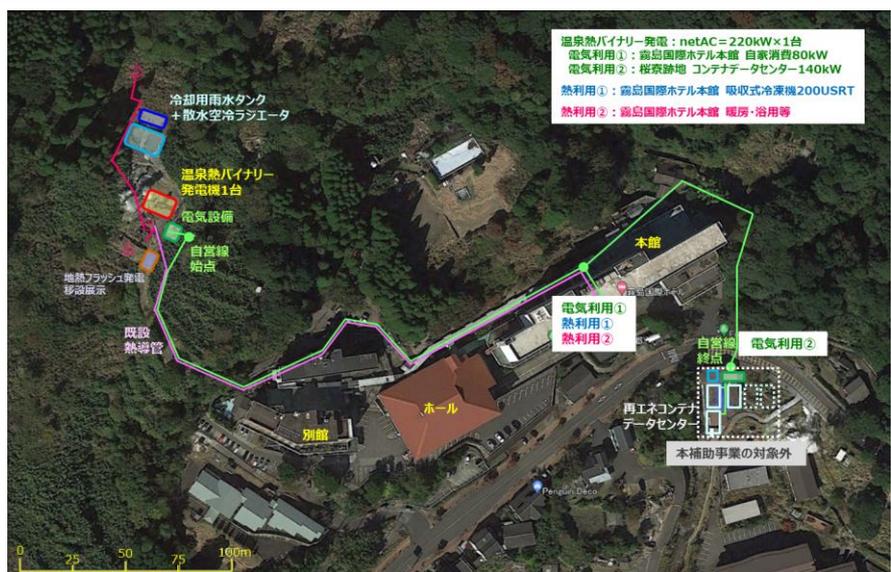


○事業概要

霧島温泉地域の豊かな温泉資源を活用して、地域の脱炭素化とレジリエンス性の強化を図るとともに、「温泉熱活用型データセンター」の整備による、温泉地域のデジタル社会インフラ整備と新産業の振興を通じ、地域の経済好循環と活性化に繋がる地域循環共生圏の構築にむけて、温泉熱等利活用事業の事業計画を策定します。国内各地に広がる温泉地域の持続的な発展にむけた、新たな温泉活用型・デジタルタウンを具現化する先進地域とすることで、「デジタル田園都市国家構想」の実現にも貢献します。本事業の実施計画は以下の通りです。

- 計画策定
 - 22年7月：エネルギー需要調査、設備選定・自営線整備検討、事業性評価委託先選定～発注
 - 22年8～10月：委託先中間報告～設備仕様選定、基本設計および事業性評価開始
 - 22年10～23年1月：基本設計および事業性評価完了・最終報告
 - 23年2月：成果報告書受領・検収～実績報告書提出・計画策定事業完了
- 設備等導入
 - 23年6月～24年2月：設備等導入事業(23年度分) 実施。並行して別補助事業にて、余剰電力を活用するコンテナデータセンターを整備
 - 24年6月～25年2月：設備等導入事業(24年度分) 実施。補助事業を完了し、温泉熱バイナリー発電を開始（地域循環共生圏構築完了）

○導入予定の設備等のイメージ



散水空冷型・温泉熱バイナリー発電システム（イメージ）

○事業の実施体制

